

青山眼鏡株式会社

「VRカスタム空間、VRPR空間、廃材の資源化研究」



メタバース空間（VRカスタム空間、VRPR空間）で眼鏡を自由にデザインし、デジタルから実製品の製造につなげる技術を研究開発した。

企業情報	
業務内容	眼鏡製造販売
所在地	福井市半田町9-8
担当者	青山 陽之
問合せ先	TEL 0776-38-0003 MAIL info@xelf-net.com



企業HP

1.事業実施の経緯

当社は、眼鏡製造技術とデジタル技術によるオーダーメイド眼鏡の仕組みづくりに取り組んできました。しかし、従来は専用設備や運用コストが課題でした。そこで本事業では、メタバース上で眼鏡をデザインし、製造につなげる仕組みの研究開発を行いました。

2.事業内容

- メタバース上にデジタル工房を構築
- 眼鏡フレームの形状や色のカスタム機能を開発
- AIチャットボットの開発
- 製造時に出るアセテート廃材の再利用方法の検討
- 眼鏡のデータを製造用データへ変換する技術の研究

3.事業の成果

- メタバース上で眼鏡を自分好みにデザインできる環境を構築（2種類のフレームを好きな割合で合成）
- AIチャットボットとメタバース空間を連携
- アセテート廃材を3Dプリンター材料として再利用できることを確認
- 製造データへの自動変換に関する基盤技術を構築



図 眼鏡フレームを合成し自分好みにカスタマイズ

4.製品・技術のPR

本技術の特徴

- メタバース上で眼鏡デザインが可能
- フレーム形状や色を自由に組み合わせ可能

本技術によりデジタルとリアル（実際の眼鏡製造）を融合した新しいものづくりを目指します。

また、アセテート廃材の再利用研究により、環境負荷低減に貢献できる可能性を確認しています。

開発者の声

青山 陽之

眼鏡づくりは長い歴史を持つ産業ですが、デジタル技術を組み合わせることで、まだ新しい可能性があると考えています。今回の研究では、VR空間で眼鏡を自由にデザインする仕組みから、AI、データ変換、廃材の再利用まで幅広く挑戦しました。すべてが完成したわけではありませんが、実際に動く仕組みを作れたことで、次の事業化につながる大きな一歩になりました。

経営者の声

青山 陽之

本事業では、当社が培ってきた眼鏡製造技術を、メタバースやAIなどの新しい技術と組み合わせる研究に挑戦しました。研究を通じて、眼鏡のデザインから製造までをデジタルでつなぐ可能性を確認することができました。今後は今回得られた成果を発展させ、特定のプラットフォームに依存しない仕組みを構築し、国内外のクリエイターと福井の眼鏡製造技術をつなぐ新しい事業へ育てていきます。